

# お茶の水女子大学学报

昭和62年1月1日  
お茶の水女子大学庶務課

## 目次

関係法令	1
学内規程	1
お茶の水女子大学学長候補者選考規程実施細則の一部を改正する細則	2
お茶の水女子大学学部履修規程の一部を改正する規程	2
人事	2
学事	4
昭和62年度お茶の水女子大学学生募集要項(細目)(抄)	4
昭和62年度お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科学生募集要項	7
昭和62年度お茶の水女子大学編入学生募集要項	8
奨学金授与式について	10
学位記授与式について	10
昭和61年度科学研究費補助金交付決定について	10
諸報	11
学長候補者選挙について	11
永年勤続者表彰について	11
大学院人間文化研究科創立十周年記念	11
海外渡航	11
研修	12
昭和61年度健康診断	12
レクリエーション行事	13
職員の住所等変更	14
新任者住所	14
日誌	14

## 関係法令

### 【法律】

- 国家公務員災害補償法の一部を改正する法律(法律第85号、11月7日官報)

### 【政令】

- 研究交流促進法の施行期日を定める政令(政令第344号、11月18日官報)
- 研究交流促進法施行令(政令第345号、11月18日官報)

### 【省令】

- 研究交流促進法による文部省所管の試験研究施設の使用に係る認定手続を定める省令(交部省令第38号、11月18日官報)
- 管理栄養士学校指定規則の一部を改正する省令(交部省・厚生省令第3号、12月10日官報)

### 【規則】

- 人事院規則14-13(四週六休制の試行のための職員の職務に専念する義務の免除)の制定(人事院規則14-3、10月21日官報)
- 人事院規則9-40(期末手当及び勤勉手当)の一部を改正する人事院規則(人事院規則9-40-5、11月19日官報)
- 人事院規則11-4(職員の身分保障)の一部を改正する人事院規則(人事院規則11-4-1、11月19日官報)

### 【告示】

- 昭和62年度科学研究費補助金(海外学術調査一がん特別調査)の計画調書の提出期間を定める件(交部省告示第145号、11月14日官報)

### 【公告】

#### 政府調達

- 競争参加者の資格に関する公示、入札公告(12月15日官報)

## 学内規程

- 昭和61年お茶の水女子大学規則第29号  
お茶の水女子大学学長候補者選考規程実施細則の一部を改正する細則を次のように定める。  
昭和61年10月22日

お茶の水女子大学長 藤 巻 正 生  
 お茶の水女子大学学長候補者選考規程実  
 施細則の一部を改正する細則

お茶の水女子大学学長候補者選考規程実施細則の一部  
 を次のように改正する。

第5条第2項中「第12条」を「第11条」に、「5週間」  
 を「6週間」に改める。

附 則

この細則は、昭和61年10月22日から施行する。

○昭和61年お茶の水女子大学規則第30号

お茶の水女子大学学部履修規程の一部を改正する規程  
 を次のように定める。

昭和61年11月26日

お茶の水女子大学長 藤 巻 正 生

お茶の水女子大学学部履修規程の一部を改正す  
 る規程

お茶の水女子大学学部履修規程の一部を次のように改  
 正する。

別表1(第12条関係)中

理学部	化学科	36	8
-----	-----	----	---

4	38	4	4	4	26	76	124	を	理学部	化
---	----	---	---	---	----	----	-----	---	-----	---

学科	36	8	4	56	0	0	6	14	76	124	に
----	----	---	---	----	---	---	---	----	----	-----	---

家政	児童学科	36	8	4	34	18	0	6	18
学部	家庭経営学科	36	8	4	38	16	0	6	16

76	124	を	家政	児童学科	36	8	4	36
76	124		学部	家庭経営学科	36	8	4	36

22	0	6	18	76	124	に改める。
18	0	6	16	76	124	

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

人 事

○ 人事異動

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
61. 10. 30	五十嵐 脩	生活環境研究センター長事務代 理(免)	公の名称	(生活環境研究センター 教授)
61. 12. 1	菊 地 昌 弘	文部事務官(会計課)	採 用	

○ 非常勤講師

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	本 務
61. 10. 16	金 丸 和 子	講師(文教育学部)	61. 10. 16~ 62. 3. 31	
"	中 村 泉	"	"	帝京大学 講師
"	鳥 内 敏 子	"	"	日本女子体育大学 講師
"	板 谷 徹	"	"	
"	三 浦 弓 杖	"	"	千葉大学 助教授
"	高 田 由 美	"	"	聖心女子大学 講師
"	高 木 亮 一	講師(理学部)	"	千葉大学 教授
"	寶 来 正 子	"	"	東京工業大学 助教授
"	品 田 正 樹	"	"	電気通信大学 教授
"	佐 藤 和 郎	"	"	東京大学 講師

61. 10. 16	岩本 振武	講師(理学部)	61. 10. 16~ 62. 3. 31	東京大学 教授
"	加治 和彦	"	"	東京都老人総合研究所 主任研究員
"	矢原 一郎	"	"	東京都臨床医学総合研究 所部長
61. 10. 20	小宮山 雅代	講師(附属幼稚園)	61. 10. 20~ 62. 1. 9	
61. 11. 1	井上 美沙子	講師(文教育学部)	61. 11. 1~ 62. 3. 31	
"	笠井 献一	講師(理学部)	"	帝京大学 教授
"	八代 盛夫	"	"	
"	馬場 康維	"	"	統計数理研究所 助教授
"	山中 英明	講師(家政学部)	"	東京水産大学 助教授
"	若桑 みどり	講師(大学院人間文化研究科)	"	東京芸術大学 教授
"	加藤 一郎	"	"	早稲田大学 教授
61. 12. 1	富山 淳	講師(理学部)	61. 12. 1~ 62. 3. 31	東京都立大学 教授
"	守 和子	"	"	産業医学総合研究所 主任研究官
"	中山 重蔵	"	"	埼玉大学 助教授
"	佐佐木 行美	"	"	東京大学 教授
"	加納 和孝	"	"	東京大学 助手
"	館野 義男	"	"	理化学研究所
"	高畑 尚之	"	"	国立遺伝学研究所 助教授
"	岡田 益吉	"	"	筑波大学 教授
"	大島 泰郎	"	"	東京工業大学 教授
"	原口 純子	講師(家政学部)	"	桜村村立桜南幼稚園 園長
"	二木 武	"	"	
"	沖谷 明紘	"	"	日本獣医畜産大学 教授
"	小澤 聰子	講師(附属小学校)	"	

## ○ 非常勤職員

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
61. 10. 20	長田 有子	辞職承任		文教育学部
"	飯泉 菜穂子	"		家政学部
61. 11. 1	三沢 志津江	事務補佐員(会計課)	61. 11. 1~ 62. 3. 31	
"	田口 久美子	教務補佐員(文教育学部)	"	
"	堀江 朝恵	"	"	
"	トリタ・サン セダ	教務補佐員(家政学部)	"	
61. 11. 26	篠永 さざれ	死亡した		理学部

# 学 事

## ○ 昭和62年度お茶の水女子大学学生募集要項(細目)(抄)

### 1. 学部・学科別募集人員

文教育学部	哲学	史学	地理学	国文学	外国文学科			教育学科		舞踊教育学科		計
	科	科	科	科	中国文学 中国語学	英文学 英語学	仏文学 仏語学	教育学	心理学	舞踊 教育学	音楽 教育学	
	24	23	22	35	12	37	8	23	17	18	13	232
理学部	数 学 科		物 理 学 科		化 学 科		生 物 学 科		計			
	24		24		22		27		97			
家政学部	児 童 学 科		食 物 学 科		被 服 学 科		家 庭 経 営 学 科		計			
	40		37		36		33		146			

注1) 理学部数学科, 物理学科及び化学科の募集人員については, 増員を計画している。昭和62年度予算の関係で現在は未確定であるが, この詳細は政府予算案の決定後(昭和62年1月頃)発表する予定であるので注意すること。

注2) 理学部の募集人員のうち, 数学科(7名以内), 物理学科(5名以内)及び生物学科(7名以内)については, 推薦入学の募集人員が含まれている。

### 2. 出 願 資 格

下記のいずれかに該当する女子で, かつ, 昭和62年度共通1次学力試験の5教科を受験する者

- (1) 高等学校を卒業した者及び昭和62年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び昭和62年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び昭和62年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### 3. 出 願 手 続

#### (1) 出願書類等

1. 出願カード 本学所定のもの。「昭和62年度共通第1次学力試験成績請求票」(〔I〕国公(私)立大学提出用)を所定欄に貼付すること。
2. お茶の水女子大学入学志願者マーク・カード 「入学志願者マーク・カード記入上の注意」をよく読み, 本学所定のマーク・カードを記入すること。
3. あて名票2枚 合格通知その他に使用するので, 本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないのでよい。
4. 調 査 書 出身学校長が作成し厳封したもの。ただし, 出願資格(3)に該当する者は, 当該試験等の

#### 5. 健康診断書

成績証明書を提出すること。  
昭和60年3月以前の高等学校卒業者は「視力, 色覚, 聴力, 結核及びその他の疾病, 異常等」について医師が作成した健康診断書(様式は特に定めない。)を提出すること。ただし, 昭和61年3月高等学校卒業生及び昭和62年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。

#### 6. 検 定 料

11,000円「郵便為替」として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。なお, 検定料は出願を受理した後はいかなる理由があっても返還しない。

#### 7. 検定料納付書

(原符・領収証書)  
本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入し, 志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないのでよい。

#### 8. 受験許可書

他大学在学者に限り学長・学部長・学生部長のいずれかが証明したものを提出すること(様式は特に定めない)。

9. 受験票返送用封筒 本学所定の封筒に260円切手を貼付し志願者の住所、氏名及び郵便番号を記入すること。

10. 推薦入学合格者 他の国公立大学(私立産業医科大学を含み、大阪府立大学工学部を除く)の推薦入学に合格した者は、本学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として取り扱わない。

注) 当該大学に「推薦入学辞退願」を提出し許可を得た場合を除く。

(注) 理学部の推薦入学の志願者で合格とならなかった者で理学部に出席する者の出席書類は、1、2、9とする。また、検定料を再納付する必要はない。

## (2) 出願方法

1. 出願書類を一括して、本学所定の封筒を用い書留速達で下記あてに郵送すること。

文教育学部志願者…………… 文教育学部事務部

理学部志願者…………… 理学部事務部

家政学部志願者…………… 家政学部事務部

封筒下欄の志願者欄に住所、氏名、第1志望学科及び専攻名等を名記すること。

なお、家政学部児童学科・被服学科及び家庭経営学科の志願者は、A・Bのいずれかを記入すること。

2. 文教育学部及び家政学部の入学志願者は、同一学部内に限り第二志望まで認める。

理学部は第二志望を認めない。学部間の併願は認めない。

## 4. 出願期間

昭和62年1月12日(月)～1月19日(月) 締切日までの消印があれば有効

## 5. 入学者の選抜方法

### (1) 第1段階選抜

#### 1. 選抜方法

各学部とも出願者多数の場合に限り第1段階選抜を行うことがある。

文教育学部…………… 第1段階選抜を行う場合には、共通第1次学力試験の各教科の得点を合計したものを受験者成績とし、得点順に入学定員の約6倍を合格者とする。

理学部…………… 第1段階選抜を行う場合には、原則として共通第1次学力試験の得点が総配点の6割以上である者について、共通第1次学力試験の外国語(200点)、数学(100点に換算)及び理科(100点)の成績にもとづいて行い、得点順に入学定員の約6倍を合格者とする。

家政学部…………… 第1段階選抜を行う場合には、共通第1次学力試験の各教科の得点を合計したものを受験者成績とし、得点順に入学定員の約6倍を合格者とする。

2. 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果については、次の①又は②により発表する。

① 第1段階選抜実施の有無は、1月22日(木)の午後、学内本部棟前掲示板に掲示するとともに、実施しない場合は志願者全員に「受験票」と「受験者心得」を郵送する。

② 第1段階選抜を実施した場合2月18日(木)の午後、学内本部棟前掲示板に選抜の結果を発表する。合格者には「受験票」と「受験者心得」を、合格とならなかった者には「選考結果通知書」を郵送する。

(2) 第1段階選抜合格者に対して、第2次学力検査を課し、その結果と共通第1次学力試験成績、調査書並びに健康診断書を総合して合格者を判定する。

### (3) 第2次学力検査

1. 期 日 3月5日(木)〔6日(金)は実技検査〕

2. 学力検査(省略)

3. 実技検査(省略)

(4) 入学者選抜第1次・第2次配点比率(省略)

(5) 第2次学力検査日時割

学部等 学科		日 時		3 月 5 日 (木)		3 月 6 日 (金)	
文 教 育 学 部	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 国 文 学 科 外 国 文 学 科 (中国文学・中国語学) (英文学・英語学) (仏文学・仏語学) 教 育 学 科 (教 育 学) (心 理 学)	国 語	10:00~11:40	外 国 語	13:10~14:50	実 技 (第一志望, 第二志望とも) 10:00~	
	舞 踊 教 育 学 科 (舞 踊 教 育 学) (音 楽 教 育 学)						
理 学 部	数 学 科	数 学	10:00~11:10	数 学・選 択 (物理, 化学, 生物)	13:10~16:10		
	物 理 学 科			物 理・数 学	13:10~16:10		
	化 学 科			化 学・選 択 (物理・生物)	13:10~16:10		
	生 物 学 科			生 物・選 択 (物理・化学)	13:10~16:10		
家 政 学 部	児 童 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	A	国 語	10:00~11:40	外 国 語 13:10~14:50	小 論 文 15:20~17:00	
	児 童 学 科 食 物 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	B	数 学	10:00~11:10			

6. 検査場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)
7. 合格発表 3月18日(水)午後 学内本部棟前掲示板に発表する。  
合格者には、発表当日、合格通知書及び入学の関係書類を第2次学力検査の受験票と引き替えに交付する。ただし、17時までに受領し

- ない者については、郵送する。
8. 入学辞退 入学を辞退する者は、学長あての「入学辞退願」を3月25日(水)までに志望学部の事務部へ必ず提出すること。
9. 入学手続  
(1) 手続期間 3月24日(火)・25日(水)の2日間  
この期間に手続をしない者は、入学を辞退した

ものとみなす。

(2) 提出書類 誓書・保証書、昭和62年度共通第1次学力試験受験票

(3) 入学料 150,000 円

(4) 授業料 150,000 円(前期分)

(注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。

(注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。

(5) 手続場所 本学講堂

(6) 留意事項

①本学に入学者手続を完了した後これを取消して他の国公立大学(私立産業医科大学を含み、大阪府立大学工学部を除く。)に入学者手続をすることはできない。ただし、特別の事情があり3月25日(水)に学長あての「入学辞退願」を提出し許可を得た者は除く。

②他の国公立大学に入学者手続をしたときは、これを取消して本学に入学者手続をすることはできない。(当該大学に「入学辞退願」を提出し許可を得た者を除く)

#### 10. 追加合格通知

欠員が生じた場合は、3月26日以降に電話で追加合格の通知を行うことがあるので本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。

#### 11. 問い合わせ先

お茶の水女子大学 入学主幹室 入試・一般教育係

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

電話 東京(03)943-3151(大代表)

問い合わせの場合は返信用封筒(切手貼付)を同封し、返信先を明記すること。

#### ○ 昭和62年度お茶の水女子大学大学院博士課程 人間文化研究科学生募集要項

##### 1. 専攻名及び募集人員

比較文化学専攻 16名

人間発達学専攻 10名

人間環境学専攻 9名

##### 2. 修業年限 3年

##### 3. 出願資格 下記に該当する女子とする。

(1) 修士の学位を有する者(昭和62年3月修士の学位を得る見込みの者を含む。)

(2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者

(3) 本大学院において、修士の学位を有する者と同以上の学力があると認められた者

#### 4. 出願手続

(1) 入学願書 用紙は本校で交付する。

(2) 修士課程修了(見込)証明書

(3) 修士論文要旨 1部、内容・形式は7.第二次試験手続2)を参照のこと。

(4) 調査書 出身大学長又は研究科の長が作成したもの。用紙は本学で交付する。

(5) 健康診断書 公的医療機関で作成したもの。用紙は本学で交付する。

(6) 受験許可書 在職中の者は所属長の、他の大学院に在学中の者(修了見込の者を除く。)は当該大学長の許可書とする。

上記書類を一括し、入学検定料18,000円を添え出願期間内に本学に提出すること。やむを得ず郵送する場合は、検定料を郵便為替(受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記すること)とし、同封の上、書留速達郵便で送付すること。その場合、封筒に「人間文化研究科願書在中」と朱書きし、返信用封筒(定形郵便物用封筒にあて先を明記し、260円切手貼付)を同封すること。

#### 5. 出願期間・願書受付場所

(1) 出願期間 昭和62年1月21日(水)から1月28日(水)まで。(ただし土曜日・日曜日を除く)  
受付時間 午前9時～12時  
午後1時～3時  
郵送の場合は、締切日までの消印有効。

(2) 願書受付場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟1階事務室  
〒112東京都文京区大塚2丁目1番1号

#### 6. 第一次試験

(1) 選考期日 昭和62年2月5日(木)

(2) 試験内容 筆答試験(論文・言語)

## (3) 時 間 割

専攻	日時	
	2月5日(木)	
	10:00～12:00	13:00～15:00
比較文化学専攻	論 文	言 語 英語・ドイツ語・フランス語・ 中国語・日本古典語・※現代日本語 の中から2科目を選択すること。
人間発達学専攻		
人間環境学専攻		

※ 現代日本語は、外国人受験者のみ選択することができる。

## 注. 「言語」試験について

ア) 選択科目については、出願の際に届け出るものとする。

イ) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語・現代日本語については、辞書の使用を認める。

ウ) 日本古典語は、古文・日本漢文・古文書とし、3種目の中から2種目を試験場で選択すること。ただし、外国人受験者については、古語辞典・漢和辞典の類の使用を認める。

エ) 現代日本語の試験は、和文を外国語(英語・ドイツ語・フランス語・中国語のいずれかの言語を選択)に訳す。なお、選択の言語は、出願の際に届け出るものとする。

(4) 試験場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟

(5) 第一次合格発表 昭和62年2月12日(木)午前、人間文化研究科棟1階公示板に掲示する。

## 7. 第二次試験手続

第一次試験合格者は、2月13日(金)午前9時から午後5時までに、人間文化研究科棟1階事務室に次の書類を提出すること。

(1) 修士論文 2部 ただし、修士論文以外に別主題について発表した論文があり、その論文を主論文とすることを希望するときは、その旨を明記し、添付すること。また、修士論文提出後の研究により修士論文を補足する研究成果のある場合には、その論文を添付することができる。なお、修士論文をもたない場合は、これに代わるものを提出すること。(いずれの場合も、2部提出すること。)

提出論文は、試験終了時に返却する。

(2) 上記論文(主論文)の要旨 2,000字以内、横書き、B4版用紙2枚(図表を含む)におさめ、コピー6部

(3) 研究計画書 1,000字前後、横書き、B4版用紙1枚におさめ、コピー6部

## 8. 第二次試験

(1) 選考期日 昭和62年2月27日(金)、28日(土)の2日間

(2) 試験内容 口述試験(主論文及び研究計画)

(3) 試験場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟

9. 合格者発表 昭和62年3月12日(木)午前発表は、人間文化研究科棟1階公示板に合格者氏名を掲示するとともに、本人あてに合格通知書を郵送する。

## 10. 入学科及び授業料

入 学 料 150,000円

授 業 料(年額) 300,000円(前期 150,000円、後期 150,000円)

## 11. 注 意 事 項

- (1) 同一年度に、2専攻に出願することはできない。
- (2) 出願手続後は、いかなる事情があっても、書類の変更及び検定料の払いもどしの要求には応じない。
- (3) 出願について、不明な点がある場合は、庶務課大学院係に問い合わせられたい。
- (4) 合格・不合格に関する郵便・電信・電話等による問い合わせには一切応じない。

## ○ 昭和62年度お茶の水女子大学編入学生募集要項

## 1. 募集学科及び人員

家政学部 児童学科 若干名

## 2. 出 願 資 格

下記に該当する女子とする。

- (1) 大学(4年制課程)に2年以上在学し、62単位以上を修得した者、又はその見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者、又は卒業見込みの者



(3) 上記と同等以上の学力があると認められる者

3. 編入学受入年次及び在学期間

受入年次は2年次または3年次とする。

2年次に編入学の場合は3年間以上、3年次に編入学の場合は2年間以上在学するものとする。

4. 出願手続

(1) 出願期間

イ. 出願期間 昭和62年1月8日(木)～昭和62年1月13日(火)

ロ. 受付時間 平日 午前9時～午前11時30分 午後1時～午後3時  
土曜日 午前9時～午前11時30分

(2) 受付場所 本学家政学部事務部

(3) 出願書類

- イ. 出願カード 用紙は本学所定のもの
- ロ. 成績証明書 卒業又は在学大学において作成したもので、その大学において修得した科目の単位及び成績の記載されたもの。

ハ. 卒業証明書又は卒業見込証明書

ニ. 受験許可書 大学の2年又は3年に在学中の者(卒業見込みの者は不要)及び在職中の者は所属長の許可書を添えること。

ホ. 健康診断書 「視力、色覚、聴力、結核及

びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書(様式は特に定めない)正面上半身の名刺型2枚(3か月以内に撮影したもの)本学所定の出願カードに貼付すること。

ヘ. 写真

(4) 入学検定料 18,000円  
(検定料は出願を受理した後はいかなる理由があっても返還しない。)

左記出願書類を一括し、入学検定料を添えて所定の期日までに本学に提出すること。

※郵送(締切日までの消印有効)により出願する際は、書留速達とし、「編入学願書在中」と朱書すること。

なお、検定料(郵便為替とし、受取人欄に「お茶の水女子大学」とだけ記入)と受験票返送用封筒(あて先を表記し、60円切手を貼付)を同封すること。

5. 選抜方法

学力検査、成績証明書及び健康診断書等を総合して決定する。

(1) 試験期日 昭和62年2月2日(月)

(2) 学力検査は次により行う。

時間	9:00～10:30	11:00～12:30	13:30～15:00	15:00～16:00	16:00～
科目	外国語 英・独・仏の内 1か国語を予め 選択届出	一般教育科目の内 心理学	専門科目 児童学	小論文	口述試験

6. 合格者の発表

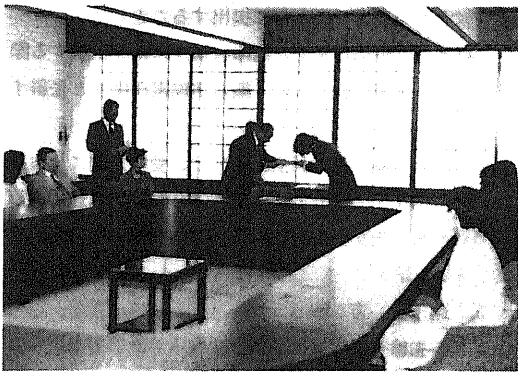
昭和62年2月7日(土)頃合格者に通知するとともに学内にその氏名を掲示する。合格・不合格に関する問い合わせには一切応じない。

○ 奨学金授与式について

昭和61年度奨学金授与式が 11月 26日(水) 本部棟第一会議室で行われた。

受賞者は次のとおりです。

- 保井・黒田奨学基金 成 田 希世子(数学科助手)
- 被服学奨学基金 田 中 享 子(人間文化研究科学生)
- 家庭経営学奨学基金 野 村 明 代(家庭経営学科教務補佐員)
- 香 取 淳 子( " )
- 細 江 容 子(家庭経営学科研究生)



○ 学位記授与式について

学位記(論文博士)授与式が 12月 17日(水) 学長室において行われ、下記の者に学術博士の称号が授与された。

被授与者：中 川 弘 子

論文題目：A Study On Thiaheterohelicenes as a Helix Model

(らせんモデルとしてのチアヘテロヘリセンの研究)



○ 昭和61年度科学研究費補助金交付決定について

種 目	研究代表者 所属・職	氏 名	配分額 (千円)	研 究 課 題
一般研究(C)	理学部 助教	根本心一	1,300	ヒトデ卵成熟に関与する卵核胞内成分の解析

# 諸 報

## ○ 学長候補者選挙について

任期満了に伴う後任の学長候補者選挙が2次に分け実施(1次選挙:昭和61年11月19日、2次選挙:昭和61年12月10日)された。その結果、河野重男文教学部教授が選出された。任期は昭和62年2月16日から3年となる。

## ○ 永年勤続者表彰について

昭和61年度永年勤続者表彰式並びに文部省永年勤続者表彰状伝達式が昭和61年11月21日本部棟第一会議室で行われ、被表彰者には表彰状並びに記念品が授与された。

被表彰者は次のとおりです。

学 長 表 彰 者	文教育学部	平 野 孝
	理 学 部	能 村 堆 子
	家 政 学 部	島 田 淳 子
	"	富 田 守
	附属小学校	黒 部 善 之
	附属中学校	花 田 修 一
	厚 生 課	畑 中 英 子
文部大臣表彰者	附属図書館	豊 田 広 一

## ○ 大学院人間文化研究科創立十周年記念

本学大学院人間文化研究科は、わが国で最初の、修

士課程とは別個の独立した後期3年のみの博士課程として昭和51年6月に設置されて、今年で十周年を迎えた。これを記念して、去る10月22日に記念式典が挙

行された。

これには、来賓の元学長、元研究科担当教官の列席のもと、教職員、学生、出身者らの多数が参加した。まず、一般教育2号館において行われた記念式では、藤巻学長が祝辞を述べ、次いで、太田研究科長から創設以来10年間の経過報告があった。続いて、前学長の井上茂名誉教授による「学の種」と題する記念講演が行われた。

このあと、記念会が人間文化研究科棟大会議室で催された。



## ○ 海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
文教育学部 教 授	徳 丸 吉 彦	アメリカ	民族音楽学会参加・講演及び資料 収集	61. 10. 13 ~ 61. 10. 26	研 修
生活環境研 究センター 教 授	福 場 博 保	ポルトガル イギリス	「国際シンポジウム食事と健康」 出席及びヨーロッパ食品工業視察	61. 10. 16 ~ 61. 10. 29	出 張
附属中学校 教 諭	永 井 啓 子	アメリカ イギリス チェコスロバキ ア、西ドイツ フランス	昭和61年度国立大学・学部附属学 校等教官海外教育事情視察	61. 10. 18 ~ 61. 11. 11	"
理 学 部 講 師	藤 枝 修 子	中華人民共和 国	日中熱測定シンポジウムに出席の ため	61. 11. 3 ~ 61. 11. 9	研 修
理 学 部 教 授	瀬 野 信 子	シンガポール	第4回アジア・オセアニア生化学 会議に出席・研究発表のため	61. 11. 29 ~ 61. 12. 6	"

(1611)

## ○ 研 修

名 称	実施期日	対 象 者	修 了 者	主 催
第37回文部省会計事務特別研修	昭和61年 9月29日～ 10月18日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者又はそれに相当する者で、原則として年齢25歳以上30歳以下の者	会計課一般係員 山本 隆	文 部 省
行政管理セミナー(第18回プログラマーコース)	昭和61年 9月29日～ 10月24日	情報処理部門要員でプログラミング作業に従事する者(原則として行(一)4級以下の者)	会計課一般係員 渡邊尚平	総 務 庁
第42回関東地区中堅係員研修	昭和61年 10月15日～ 10月24日	1.国家公務員採用初級試験採用後おおむね8年及び国家公務員採用中級試験採用後おおむね5年の経験を有する者並びにこれらと同等の者 2.年齢30歳未満の者 3.勤務成績が優秀な者	会計課一般係員 柴田正造	人事院関東事務局
第5回KET(公務研修協議会方式公務員倫理研修)指導者養成研修	昭和61年 11月26日～ 11月28日	1.係長相当職以上の者で監督者としての実務経験を有する者 2.勤務成績が優秀であり、本研修終了後、KETの指導者として適当な者	庶務課人事係長 吉成政行	人事院関東事務局
昭和61年度人事事務研修	昭和61年 12月3日～ 12月10日	人事事務を3年以上担当している係長、主任又は中堅職員で行政職(一)2級以上の者ただし満35歳以下で、この研修を受講したことのない者	庶務課一般係員 高山理知子	文 部 省

## ○ 昭和61年度健康診断

事 項	実施期日	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
肝臓機能検査	昭和61年 10月10日～ 10月14日	4月1日現在満40歳以上の職員。ただし、人間ドック、特別定期健康診断受診者及び遠隔地勤務者を除く。	126人	保健管理センター
胃の検査(第一次)	昭和61年 10月13日～ 10月14日	4月1日現在満40歳以上の職員。ただし、昨年直接2次検診と判定された者、人間ドック受診者及び妊娠中の女子職員を除く。	83人	保健管理センター 前集団検診車
職員一般定期健康診断(第1回)	昭和61年 10月16日～ 10月17日	全職員。ただし、人間ドック受診者及び遠隔地勤務者を除く。	214人	保健管理センター
遠隔地勤務者健康診断	昭和61年 11月26日	志賀高原体育運動場、理学部附属臨海実験所及び館山野外教育施設勤務者	6人	長野県中野保健所 千葉県館山保健所
職員一般定期健康診断(第2回)	昭和61年 12月4日	全職員。ただし、前回と人間ドックの受診者及び遠隔地勤務者を除く。	29人	保健管理センター

## ○ レクリエーション行事

## 1. 文化大会

行事名	実施日時	参加者数	作品・催しもの内容	実施場所
昭和61年度 職員文化祭 (第2回)	昭和61年 11月25日～ 11月28日	作品出展 者及び催 しもの参 加者 49人	展示物 48点 お茶会 (職員茶道班主催) カラオケ大会 (職員BGM班主催)	文教育学部 第一会議室

※参加者全員に、記念品が贈られた。

## 2. スポーツ大会

行事名	実施日時	参加者数	入賞者(チーム)等	実施場所
昭和61年度 職員硬式テ ニス大会	昭和61年 10月18日 13時～ 17時	42人	1位 斉藤正廣(会計課) 石川千一(施設課) 古賀 智 ・村山恵子(学生課) 村石 京・豊田一秀(附属幼 稚園) 2位 西村光範(会計課) 富山 弘(学生課) 富永靖徳 (理学部) 鳥養映子(人間文化研究科) 栗山鶴一 ・北村千秋(附属学校部) 3位 渡邊尚平(会計課) 中島武幸(厚生課) 岩田光夫 ・萩原あゆみ(理学部) 園城寺信一・石井朋子(附 属高等学校)	高校テニス コート
昭和61年度 職員ボウリ ング大会	昭和61年 10月24日 18時～ 20時	45人	1位 吉田 茂(庶務課) 渡邊尚平・岡崎芳雄(会計課) 2位 三井田勝・峯村 薫(会計課) 長澤真理子(文教育 学部) 3位 古賀 智(学生課) 平松周二(附属図書館) 村石 京(附属幼稚園) 得点 1位 505ピン 2位 492ピン 3位 490ピン (個人3ゲームのハイゲームトータル)	池袋ブラン ズウィック ・スポーツ ガーデン
昭和61年度 職員ソフト ボール大会	昭和61年 11月15日 13時～ 16時10分	110人	1位 会計課 Aチーム 2位 会計課 Bチーム 3位 理学部 チーム	大学グラン ド
昭和61年度 職員卓球大 会	昭和61年 12月 6日 13時～ 17時	22人	1位 石井朋子・立花秀子・菊池美千世(附属高等学校) 田口裕子・有賀郁敏・宮本乙女(附属中学校) 2位 柴田文明・池田宏信・窪田健二・細井隆一・所 哲司 (理学部) 3位 東山四孝也・三井田勝・西村光範・峯村 薫・渡邊尚 平(会計課)・高橋章子(附属図書館)	大学体育館

※入賞者に副賞として賞品が、また参加者全員に記念品が贈られた。



○職員の住所等変更

○新任者住所

日 誌

(61.10.16～61.12.15)

- 10月16日(木) 昭和62年度大学院家政学研究科(第1次募集)入試合格者発表、第66回関東甲信越地区国立大学庶務部課長会議(17日・18日於新潟県松之山町)
- 17日(金) 第4回国立大学教育実習連絡協議会(於東京学芸大学)、第33回関東甲信越地区国立大学長会議(於竹橋会館)
- 18日(土) 公開講座
- 21日(火) 部局長会議、第24回全国大学保健管理研究集会(21日・22日於千葉大学)、第68回関東甲信越地区国立学校施設部課長会議(21日・22日於茨城大学)、昭和61年度留学生担当者研修会(21日～23日於国立婦人教育会館)
- 22日(水) 評議会、一般教育委員会、大学院人間文化研究科10周年記念、昭和61年度関東甲信越地区国立大学事務局長会議(22日・23日於山梨医科大学)
- 23日(木) 国立22大学理学部部長会議(於学士会館)第14回保健管理センター所長会議(於横浜国立大学)、草津セミナーハウス事務担当者会議(23日・24日於草津セミナー・ハウス)
- 24日(金) 第4回国立大学理学部部長会議(於学士会館)、栄養士連絡協議会(於東京大学)、第49回教育実習指導研究会(主催本学小学校)
- 25日(土) 公開講座、昭和61年度女子大学連盟総

- 会(於白百合女子大学)
- 27日(月) 学長候補者選挙管理委員会、第22回大学食堂管理研究集会(27日・28日於国立教育会館)
- 29日(水) 第22回国立十五大学学長懇話会(於九州芸術工科大学)、体育祭
- 31日(金) 一般教育委員会
- 11月 1日(土) 公開講座
- 5日(水) 将来構想検討委員会、電子計算機室運営委員会、教務委員会、附属学校委員会、附属幼稚園教育実習(5日～18日)
- 6日(木) 学寮防火管理委員会
- 8日(土) 德音祭(8日・9日)
- 11日(火) 電子計算機室運営委員会、理学部推薦入学願書受付(11日～17日)、後期分授業料免除選考会、事務連絡会議
- 12日(水) 大学院人間文化研究科会議、日本育英会学部1年次奨学生選考会、国立大学協会総会(12日・13日於学士会館)
- 13日(木) 教務委員会
- 14日(金) 国立大学協会事務連絡会議(於学士会館)
- 15日(土) 附属幼稚園創立110周年記念、第33回東京地区国公立大学連合文化会(美術部門)第1回委員会及び第3回学生会委員分科会(於東京水産大学)
- 16日(日) 大山寮消防訓練
- 17日(月) 日本育英会大学院予約奨学生選考会
- 18日(火) 部局長会議、防火管理者講習会(18日・19日於板橋消防署)
- 19日(水) 各学部教授会、理学研究科委員会、学長選挙、日本育英会奨学金返還説明会、家政学研究科委員会
- 20日(木) 学生委員会、小石川寮消防訓練、附属小学校・中学校避難訓練
- 21日(金) 学寮委員会、学寮協議会、永年勤続者表彰式
- 25日(火) 部局長会議、第2回職員文化祭(25日～28日)
- 26日(水) 評議会、学長候補者選挙管理委員会、持ち回り附属学校委員会、附属学校教育研究委員会、奨学金授与式
- 27日(木) 第38回東京地区国公立大学入試担当課長会議(於電気通信大学)、外国人留学生顧問教官会議、附属小学校願書受付

- 28日(金) 理学部臨時教授会、「学園だより」編集委員会
- 29日(土) 昭和61年度厚生補導関係教職員研究会  
(29日・30日於静雲荘)、創立記念日
- 12月 1日(月) 電子計算機室運営委員会、附属小学校  
第1次検定
- 2日(火) 附属小学校第2次検定(2日～4日)
- 3日(水) 将来構想検討委員会、附属学校長候補  
者選考委員会
- 5日(金) 事務連絡会議
- 6日(土) 附属小学校合格発表
- 8日(月) 理学部推薦入学口述試験
- 9日(火) 部局長会議、臨時評議会、入試委員会  
教育実習専門委員会
- 10日(水) 臨時評議会、各学部教授会、各研究科  
委員会、学長選挙
- 11日(木) 理学部推薦入学合格者発表、学寮協議  
会
- 12日(金) 一般教育委員会
- 15日(月) 文部省共済組合運営審議会委員連絡協  
議会(於本郷会館)

学報第113号の訂正

訂正箇所	誤	正
17頁(右)	<u>国文</u> 湊助教授	英文 湊助教授
	<u>英文</u> 平田講師	国文 平田講師